第 23 回沖縄県スポーツ・レクリエーション祭チーム対抗テニス大会オープンクラス優勝での吉田・

慶田盛ペアの活躍 ～テニスでも AI コーチ～

図1：吉田くんたちが第23回チーム対抗テニス大会で獲得した賞状。ここでのオープンクラスとは、本大会で最もレベルが高いクラスのことを指す。

4		
チーム名	スティッチ	
監督名	時任大成	
選手名	男子	女子
	慶田盛 謙二郎	伊波 実花子
	時任 大成	知名 真歩
	吉田 成帆	知念 明日香
		白川 未来

図2：出場（チーム名：スティッチ）メンバー。左上が吉田成帆くん（理工学研究科修士1年次）、右上が慶田盛謙二郎くん（工学部3年次）。

図3：吉田くんのサーブフォーム解析結果の一例。

図4：AIを使った吉田くんのテニスサーブ実行時の姿勢推定。図3の解析と組み合わせると、彼のサーブでコースインするにはサーブを打つ直前の溜めのポーズで右脇の角度が重要だとわかる。

17	000160	YKCT	北見 雄治郎 [5]			
	000746	YKCT	田村 知大	吉田 成帆		
	011966	フリー	吉田 成帆	慶田盛 謙二郎		
18	005073	Nexus TC	慶田盛 謙二郎	6-2	吉田 成帆	
	006309	漫友会	鉢嶺 清章		慶田盛 謙二郎	
19	005424	トミザラス	黒島 勇輝	鉢嶺 清章	7-6(0)	
	001063	那覇西高校OB	島袋 望	黒島 勇輝		
20	001288	フリー	松野 義輝	6-3		
	005360	フリー	喜名 景一朗			
21	000047	shot	喜名 景太	屋富祖 亘		
	005746	フリー	屋富祖 亘	浦崎 陽平		
22	005440	沖電TC	浦崎 陽平	6-3		
	000671	チームk	嘉数 賢汰		柚木崎 裕介 [3]	
	006233	チームk	宮國 貴大	柚木崎 裕介 [3]	7-6(1)	
	005710	W.S	柚木崎 裕介 [3]	比嘉 要		
24	006269	W.S	比嘉 要	6-3		
						柚木崎 裕介 [3] 比嘉 要 7-6(6)

図5：令和2年11月3日に行われた「令和2年度沖縄県テニス選手権大会、一般男子オープンクラス、ダブルス」の結果。吉田・慶田盛ペアは、全30組が出場したトーナメント方式のこの大会でもベスト8の好成績を残した。

吉田・慶田盛ペアのあゆみ
～テニスでもAIコーチ！～

効率的な練習が必要な背景

1. 時間（夜は暗くてボールが見えない）
2. 指導者（すでに自分たちが教える立場）

おしえて注目琉大生！北島栄司さん！

ラートでAIコーチを活用。インカレ2019で準優勝

目標：テニスのサーブを強化

対象とする姿勢

1. トスアップ

2. トロフィーポーズ

3. ヒッティング

... サーブが入るカギとなる身体の特徴をあぶりだす

サーブフォーム解析結果

トロフィーポーズの右脇の開きが重要！

解析結果の解釈

...たしかに微妙に違う！

サーブが入ったとき

入らなかったとき

①チーム対抗テニス大会 オープンクラス 優勝

- オープンクラスとは
...県内の熟練者が出場
- 5チームの総当たり戦
- ステイッチ、全勝！

②沖縄県テニス選手権大会

一般男子オープンクラス ダブルス ベスト8

17	000160	YKCT	北見 雄治郎 [5]			
	000746	YKCT	田村 知大	吉田 成帆		
18	011966	フリー	吉田 成帆	慶田盛 謙二郎		
	005073	Nexus TC	慶田盛 謙二郎	6-2	吉田 成帆	
	006309	漫友会	鉢嶺 清章		慶田盛 謙二郎	
19	005424	トミザラス	黒島 勇輝	鉢嶺 清章	7-6(0)	
	001063	那覇西高校OB	島袋 望	黒島 勇輝		
20	001288	フリー	松野 義輝	6-3		柚木崎 裕介 [3] 比嘉 要
	005360	フリー	喜名 景一朗			
21	000047	shot	喜名 景太	屋富祖 亘		7-6(6)
	005746	フリー	屋富祖 亘	浦崎 陽平		
22	005440	沖電TC	浦崎 陽平	6-3	柚木崎 裕介 [3] 比嘉 要	
	000671	チームK	嘉数 賢汰			
23	006233	チームK	宮國 貴大	柚木崎 裕介 [3]	7-6(1)	
	005710	W.S	柚木崎 裕介 [3]	比嘉 要		
24	006269	W.S	比嘉 要	6-3		

テニスコーチや九州大会経験者といった熟練者も含め、全30組が出場

今後の展望：他者に研究成果を活用

慶田盛謙二郎君に活用

- 長身
 - 身体的違いが出やすい
- プレイにムラがある
 - 伸びしろが十分にある！

ペアで技術向上、めざせ優勝！

Hult Prize 琉球大学
学生運営委員会代表 銘苺隆磨

企画書（ハルトプライズ・琉球大学）

目的:

琉球大学において、Hult Prize（ハルトプライズ）の On Campus Program の企画・運営を通して、Regional Summit への進出者を選出し、琉球大学から世界への社会問題を解決する社会起業家を輩出する。また、社会問題と起業に関するイベントの開催を通して、国際化や起業家意識の向上を目指す。

Hult Prize の概要:

Hult Prize はビジネスを用いてグローバルな社会問題を解決するための、世界最大規模の社会起業家プラットフォームである。毎年世界から 200 万人以上の学生が参加し、グローバルな課題を解決するためのアイデアを創出している。最優秀アイデアには百万ドル（約 1 億円）を出資することで事業化の加速を図っており、「学生のノーベル平和賞」とも称せられている。

毎年、元米国大統領ビル・クリントン氏、国連スタッフ、Hult Prize メンバーによって決定される SDGs（持続可能な開発目標）に基づいたテーマが、9 月にビル・クリントン氏によって発表される。このテーマに基づき、3~4 人のチームでビジネスアイデアを、英語で 10 分間（6 分: プレゼンテーション、4 分: 質疑応答）で発表し、審査員によって最優秀チームが選出される。

オフィシャルパートナーとして、国連をはじめ、ビル・クリントン氏、EF（Education First）、Hult International Business School などが挙げられる。Hult Prize の最大の特徴は、1 年間通して学生を支援してくれるカリキュラムを設けていることである。学内大会である On Campus Final で勝ち進むと、Regional Summit、Accerelator Program、国連本部で行われるグローバルファイナルへと進むことが可能である。このように、Hult Prize は日本の学生が社会問題に対してチャレンジできる環境を作っている。

On Campus Final の仕組み:

On Campus Final では、参加する学生が 3~4 人でチームを組み、6 分間のプレゼンテーションと 4 分間の質疑応答の計 10 分間で自身のアイデアを発表する。大会の進行、発表、質疑応答は全て英語で行われる。

以下は、On Campus Program 以降、Global Final までの流れとなっている。

- **Regional Summit**
ボストン、サンフランシスコ、ロンドン、上海を含む 27 会場（'19 年度）で **Regional Summit** が開催される。世界の各大学から 27 会場に集まり、学内大会と同様にビジネスプランをピッチする。優勝チームは **Accelerator Program** へ進出できる。
- **Accelerator Program**
世界各国の **Regional Summit** で優勝したチームは、6 週間に渡って行われる **Accelerator Program** へ参加する権利を得て、ビジネスプランのブラッシュアップを行う。その後、トップ 6 チームが **Global Final** に進出できる。
- **Global Final**
世界トップ 6 のチームがニューヨークの国連本部において、百万ドル（約 1 億円）のシード投資をかけて競い合う。ここで優勝したチームにシード投資が与えられ、社会起業家としての企業がサポートされる。

On Campus Program について:

Hult Prize の第一次予選ともいべきスタートアップ・プログラムであり、大学生及び大学院生が Hult Prize からの開催に必要な権限の委託を受け、在学する大学及び大学院にて約 3 ヶ月間の期間をかけチームの募集、説明会から **On Campus Final** を開催するまでの一連のプログラムである。**On Campus Final** では琉球大学に審査員（起業家や企業の役員など）を招待し、学生が考案したいビジネスプランを英語でプレゼンテーションをする。優勝チームは、**Regional Summit** に参加する権利を得る。

Hult Prize の 1 年間のプログラム:

Hult Prize は 1 年間の、以下のプログラムを経て勝者チームを決める。具体的な流れは以下の通りである。優勝チームには海外の学生と競うチャンスが与えられる。

琉球大学での On Campus Program の位置付けと仕組み:

1. 琉球大学のミッションである「沖縄や日本、世界に貢献できる人材を育成し輩出する」に則って、ハルトプライズ琉球大学は「グローバル人材」を輩出することを目標とする。
2. 「グローバル人材」とは、グローバルトレンドと関連している SDGs への活動を通して、経済価値と社会価値を生み出す人材である。
3. 国連の持続可能な開発目標(SDGs)実現に不可欠な Innovation & Entrepreneurship が本学に、そして沖縄に根付くよう実績を積み重ねながら強くアピールしていく。
4. 沖縄でトップ人財の発掘・育成を行うのではなく、ボトムアップから人財を発掘していく。これによって、年齢や性別、国籍、能力を問わず様々な学生に機会を提供し、多様性のある大会を運営していく。この多様性が生まれることによって、それがアイデアの質につながると考える。
5. ハルトプライズ琉球大学の短期的な目標（3年間）は、100万ドルの投資価値があるビジネスプランを学生に考案してもらうことを目標とせず、社会起業の基盤である経済価値と社会価値を生み出せるビジネスモデルを創り出すことである。

琉球大学学内大会概要

【開催日時】 2020年 12月 20日（日）、10:00~15:00（具体的な時間は後日共有します）

【開催場所】 オンライン（Zoom）

テーマ 『Food For Good - 食でより良い世界を』

1. 6分間のプレゼンテーションの審査の4分間の質疑応答における質疑とそれに伴う審査。
2. プレゼンテーション及び質疑応答は全て英語で行います。
3. 審査員によって最優秀チームが選出される。
4. 最優秀チームは、Regional Summit に参加する権利を得る。

2020年度 Hult Prize 琉球大学運営メンバー

団体名	ハルトプライズ琉球大学	
顧問	国際地域創造学部 国際言語文化プログラム	
	教授 石川隆二	
運営部		
代表	法文学部 総合社会システム学科	銘莉隆磨
副代表	観光産業科学部 観光産業科学科	知念杏珠
メンバー	国際地域創造学部 国際地域創造学科	喜舎場大智
	法文学部 国際言語文化学科	仲本莉里歌
	理学部 海洋自然科学科化学系	高橋りな
	国際地域創造学部 国際地域創造学科	
	Ngiraiwet Esilong Van Damme

HULT
PRIZE

United Nations
Office for Partnerships

Leading a Generation To Change The World

Ryuma Mekarū

On Campus Director at University of the Ryukyus

- タイへ1年の交換留学（社会起業を学ぶ）
- NGOなどでの海外長期インターンシップ
- 就活支援団体エンカレッジ（沖縄代表）
- 転職などの外国人採用のお手伝い
- 学習塾の先生

メンバー紹介

Anju Chinen

Ririka Nakamoto

Ngiraiwet Esilong Van
Damme "Esi"

Taichi Kishaba

Rina Takahashi

**The Hult Prize is
the world's biggest
engine for the launch
of for good, for-profit
enterprises emerging
from university.**

世界規模の社会起業アイデアコンテスト

学生の「ノーベル平和賞」と呼ばれる

優勝チームには約1億円が提供される

Leading a Generation To Change The World

世界の若者にインスピレーションと 知識、トレーニングを与える！

世界規模の社会起業プラットフォーム

世界120カ国以上から100万人の学生

hultprize.org

hultprize.org

HULT
PRIZE

United Nations
Office for Youth

Leading A Generation To Change The World

On Campusから国連への流れ

September - December

March - April

July - August

September

5 weeks

1 week

Boston, MA, USA

United Nations, NY

hultprize.org

Leading a Generation To Change The World

- 学内プログラムは、大学キャンパスでハルトプライズプログラムに参加する機会を学生に提供します
- 100カ国以上の国、2000以上の大学
- 各大学から1チームが優勝チームとして選ばれ、地区予選（地域別ファイナル）に進出

Regionals

Summits

- ・ 世界27カ所で開催される
- ・ 勝ち残ったチームは、来夏に開催されるアクセラレータプログラムに参加
- ・ 東京での地方大会には、世界200以上の都市から集まった学生たちによる45チームが集結した

hultprize.org

Generation To Change The World

HULT
PRIZE

10 YEARS
CELEBRATING
A DECADE
OF IMPACT

United Nations
Office for Partnerships

審査員紹介

株式会社ケイスリー 取締役
Chika Ochiai

OIST 研究者
Takanari Ichikawa

株式会社re:retta 代表取締役
Sayaka Watanabe

参加する学生への トレーニングの実施

参加学生への
トレーニング

アイデア
づくり
サポート

プレゼンの
フィードバ
ック

hultprize.org

トレーニング内容と期間

- ①SDGsや社会問題について
- 社会問題への認識を高める

- ③中間発表&フィードバック会

- ②アイデアクリエーション
- 事例を踏まえながら良いアイデアとは？
ポイントをおさえる

- ④キャンパス大会当日

ゲストスピーカー紹介

Takashi Hiyane

代表取締役社長

at 株式会社レキサス

- 沖縄国際大学在学中にIT企業を起業
- その後独立し、1998年に株式会社レキサスを設立
- 2008年、沖縄の学生をシリコンバレーに派遣するRyukyufrogsを創立
- 2018年から現在まで、株式会社うむさんラボの代表取締役を務める

ゲストスピーカー紹介

Sayaka Watanabe

代表取締役社長

at 株式会社re:terra

- 国際基督教大学アジア研究専攻を卒業
- 2007年新卒として、IBMビジネスコンサルティングサービス（現日本IBM）に入社
- 独立後は、被災地での産業活性プロジェクトや途上国・新興国進出支援
- 現在は、AWS EN（アジア女性社会起業家ネットワーク）を通じて女性起業家を支援

メンター紹介

琉球ミライ株式会社/Hello World 株式会社
代表取締役社長/CEO Hikaru Nonaka

株式会社Gredge/持続可能な「食」を創造するために
代表取締役社長/CEO Junpei Aso

3つの創る

社会問題について考える
きっかけ・場所を創る

アントレプレナーシップを
持った学生を創る

持続可能な社会を創る

ハルトプライズで 学べる・経験できること

1 SDGsへの理解を深めることができる

2 学部や国籍を超えた学生との交流

3 チームビルディングを学べる

4 英語でのプレゼンテーション力UP

Q&A

Q. 英語が話せなくても大丈夫ですか？

A. 英語が話せなくても問題は無いです（英語のトレーニングを用意しています）

Q. ビジネスの知識がなくても大丈夫ですか？

A. 現段階で、ビジネスの知識は必要ないです（学生向けにビジネスのトレーニングを用意しています）

Q. チームの編成はどのようにすればいいのですか？

A. 同じ学部の友達や違う学部の友達とチームとして申し込みができます。1、2人で申し込みをされた方は運営側がマッチングを行います。

3つの「創る」の 実現に向けて

～ご清聴ありがとうございました～

ハルトプライズ
琉球大学運営チーム一同

Leading a Generation To Change The World

琉球大学世界展開力強化事業中間成果報告シンポジウム 開催のご案内

本事業は 2018 年度から、琉球大学と深い交流を持つハワイ大学、グアム大学、パラオ地域短期大学、ミクロネシア連邦短期大学、マーシャル諸島短期大学との COIL を基盤とした教育連携により、太平洋島嶼地域の SDGs 達成に積極的に貢献するリーダーを育成する教育プログラムを実施してまいりました。

本事業の開始から 3 年目となる今年度は、これまでの取組と成果のご報告のため「中間報告シンポジウム」を開催いたします。シンポジウムの前半に、国内外の大学生及び高校生を複数地点で結んで行う COIL 型交流ワークショップも計画しております。

※COIL : Collaborative Online International Learning (オンライン国際交流学習)

1 テーマ

「琉球大学 世界展開力強化事業 中間成果報告シンポジウム～SDGs が結ぶ島嶼の教育・文化そして課題～」

University of the Ryukyus Inter-University Exchange Project Mid-Term Symposium
- Island SDG Issues - Education, Culture and Future Agenda Issues

2 日時：12月10日(木) 09:00～12:00

・ワークショップ

9:00 琉球大学チーム(会場・カライ)による発表

9:15 発表に関するディスカッション(ハワイヒロ高校の生徒もオンライン参加予定)、
一般参加者からの Q&A

・休憩 10:00～10:30

・全体会

10:30 理事挨拶

10:35 事業説明

10:45 連携校からの受入学生による留学体験発表、本学学生による海外研修体験発表

11:00 基調講演(グアム大学情報戦略統括最高責任者 Manny Hechanova 氏)

11:40 一般参加者からの Q&A

3 会場：50周年記念館1F 多目的室

オンライン併用(Zoom meeting URL: 申込ページをらんください。)

4 実施言語：英語(日・英同時通訳あり)

※シンポジウムの詳細および参加申し込みは下記の URL をご覧ください。

<https://forms.gle/UA349o5v1tSQPnhN8>

大学の世界展開力強化事業(2018年度選定) 琉球大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2018年度・(タイプA))

COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成
Developing Global Leaders in the Pacific Island Region for Sustainable Development via COIL Technology

【実施期間】平成30年度～令和4年度(5年間)

【海外連携大学】

ハワイ大学(米国): マノア校、ヒロ校、ウェストオアフ校、カウアイコミュニティカレッジ、マウイカレッジ、
ハワイコミュニティカレッジ、ホノルルコミュニティカレッジ、カピオラニコミュニティカレッジ、リーワードコ
ミュニティカレッジ、ウインドワードコミュニティカレッジ
グアム大学(米国)、パラオ地域短期大学(パラオ共和国)、ミクロネシア連邦短期大学(ミクロネシア連
邦)、マーシャル諸島短期大学(マーシャル諸島共和国)

【交流プログラムの概要】

本事業は、琉球大学とハワイ大学ならびにグアム大学との間の通信システムを活用した交流の実績に
基づいて、太平洋地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成を目的とし、①琉大グローバ
ル・プログラム津梁、②学生交流プログラム(派遣・受入)を柱とする。なお、太平洋島嶼地域の持続的
発展のため、大都市圏以外の地域においてグラスルーツ的に協働する人材のモビリティを高めることに
特化する。

【本事業で養成する人材像】

琉球大学は、21世紀型市民の育成の加速化施策として、創造性、倫理性、専門性の三つの琉大版
キー・コンピテンシーを獲得した太平洋島嶼地域のグローバルリーダーの育成を目指す。

①統合型リーダー: 政治、資源、文化、インフラ等の多面的、複合的な問題点を統合しながら課題解決
のための仕組み作りを行うことができる人材

②特定課題型リーダー: 専門的な分野と全体的な枠組みとの関係性を認識した上で、特定の課題に関
する課題解決のための仕組み作りを行うことができる人材

【本事業の特徴】

本事業では、琉球大学の特色やアジア太平洋地域とのこれまでの交流実績を活かして、沖縄県と太平
洋島嶼地域に共通する島嶼性や特殊性、経済、環境、教育等の共通課題について学び、島嶼地域の
課題解決に資するグローバル人材育成を目標としている。

【交流予定人数】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
学生の派遣	5	10	12	15	18	60
学生の受入	5	9	11	11	11	47

琉球大学

琉大グローバル津梁プログラム(全28単位以上)

特定課題型リーダー

統合型リーダー

グローバル実践演習Ⅳ 2単位(共通教育)4年次

専門とする分野
(8単位以上)

3つ以上の分野
(8単位以上)

グローバル実践演習Ⅲ 2単位(共通教育)3年次

専門分野グローバル科目群(選択)

学士教育プログラム専門科目
【人文社会学部】(8プログラム)

学士教育プログラム専門科目
【国際地域創造学部】(6プログラム)

学士教育プログラム専門科目
【教育学部】(1プログラム)

学士教育プログラム専門科目
【理学部】(5プログラム)

学士教育プログラム専門科目
【医学部】(2プログラム)

学士教育プログラム専門科目
【工学部】(7プログラム)

学士教育プログラム専門科目
【農学部】(4プログラム)

グローバル実践演習Ⅰ・Ⅱ 4単位(共通教育)1~2年次

語学科目:英語10単位(共通教育)1~2年次
大学英语 講読演習 プレゼンテーション演習 ライティング

学生交流プログラム

太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム【短期型派遣・受入】
(歴史・文化・地域課題等特定テーマの短期研修)

太平洋島嶼地域探求プログラム【長期型派遣・受入】
(地域課題に適合した専門分野の探求)

シンクロ
COILクラス

シンクロ
COILクラス

ハイブリッド
COILクラス

シンクロ
COILクラス

海外連携大学

ハワイ大学9校(マノア、ヒロ、マウイ、カウアイ、ハワイ、ホノルル、カピオラニ、リーワード、ウインドワード)
 Guam University
 パラオ地域短期大学
 ミクロネシア連邦短期大学
 マーシャル諸島短期大学

専門分野科目群

グローバル協働科目群

★トピックス★

琉大でゼロエネルギーハウス実験

理学部の眞榮平孝裕教授は、産学官金連携としてフロンティアーズ社(伊藝直社長)を代表とする沖縄県内の設計・施工・土木企業チーム24社と協力し、地域の課題解決を目指すプロジェクト「沖縄から展開する亜熱帯気候に合ったゼロエネルギーハウス(以下ZEH)の研究開発プロジェクト」を進めています。ZEHとは、住まいの断熱性能、省エネ性能を上げることと、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、空調や給湯、照明、換気といった年間の一次エネルギー消費量の収支をプラスマイナスゼロ以下にする住宅のことです(図1)。また、ZEHはSDGsに沿った政策として国が推進しています。

高温・多湿・台風という環境負荷の大きい沖縄。その気候・風土にあった高い断熱と高効率設備を活かした環境・省エネルギーに対応する、快適で低価格なZEHの研究開発のため、令和元年7月にRC・コンクリートブロック造によるZEH実証実験棟を本学北口に建築しました。

ZEH実証実験棟は15帖の部屋が2部屋の2LDK地上1階ブロック造であり、屋根材の半分はスパンクリート、半分は木造、延床面積は68.87平方メートルです。四方の壁が東西南北に面するように設計されており、東側が従来のコンクリートブロック造、西側が断熱された部屋となっています。断熱材や屋根、床も取り外して自由に交換できる設計になっており、条件を変えながら温熱環境や湿度、消費エネルギーなどのデータを5年間かけて収集・解析することで、沖縄の気候にあった最適な材料の組み合わせを調査・研究します(図2)。

また、蓄電池も設置予定であり、停電の際、電力の供給が失われた場合でも太陽光で発電した電力を蓄電しながら自立的に生活が出来るシステムの検証も行う予定です。

ZEH実証実験棟での実験・評価は理学・工学系教員と学生が実施しますが、観光・教育系教員も参加した学部横断型で連携することで、子どもたちへの環境教育も進め、沖縄における未来の住環境やライフスタイルの提案も目指しています。

さらに、沖縄での実験データを得ることにより、類似の気候環境である東南アジアやハワイ等、世界の亜熱帯地域への展開も期待されています。

図1 ZEHの仕組み

図2 琉大ZEH実証実験棟の南側面(写真上)。東側(写真右)が従来工法、西側(写真左)が断熱工法で建築されており、サーモグラフィーカメラを見ると蓄熱具合に明確な

学長記者懇談会

社会福祉法人友和福祉会『ひがしの大空(そら)保育園』と
有限会社みどり調査設計新社屋の
ゼロエネルギービル(ZEB)化事業の完成について

琉球大学理学部
副理学部長
産学官連携部門併任教員
眞榮平 孝裕

2020年11月25日

1

ゼロエネルギーハウス・ビル(ZEH・ZEB)とは

使う電力 < 創る電力

年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下

エネルギーを極力
必要としない
(夏は涼しく、冬は暖かい住宅)

エネルギーを上手に使う

エネルギーを創る

(参考) 未来投資に向けた官民対話 (第3回 平成27年11月26日)

総理発言抜粋

住宅の省エネを促進します。来年度にトップランナー制度を白熱灯へ適用します。2020年までに、ハウスメーカー等の新築戸建ての過半数をZEH化するとともに、省エネリフォームを倍増します。

2

ゼロエネルギーハウス・ビル(ZEH・ZEB)とは

SDGsにおけるZEBの位置づけ

- SDGs(持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミット採択された、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。
- 政府が2019年6月に決定した「拡大版SDGsアクションプラン2019」では、日本の優先課題の一つである「省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会」の分野における具体的な取組として、ZEH・ZEBによる住宅・建築物の省エネ化・低炭素化の推進が挙げられている。

(参考) 未来投資に向けた官民対話 (第3回 平成27年11月26日)

総理発言抜粋

住宅の省エネを促進します。来年度にトップランナー制度を白熱灯へ適用します。2020年までに、ハウスメーカー等の新築戸建ての過半数をZEH化するとともに、省エネリフォームを倍増します。

3

琉球大学ゼロエネルギーハウス(ZEH)実証実験棟完成!

琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

株式会社 フロンティアーズ

有限会社 翁長電気工事

新光産業株式会社

(有)前川ブロック工場

建築設計室 創庵

株式会社 エクセルシヤノン

株式会社 松原ブロック工業

越智産業株式会社

タイガー産業

Takara standard

山佐木材株式会社

喜久川建設

株式会社スバンクリート

ecowin
by ecofactory

株式会社 パナソニック

エコソリューションズ社

大光電機株式会社

未来工業株式会社

琉球大学西田学長とフロンティアーズ社伊藤社長、関係者による落成式。(令和元年7月25日)

4

琉大ZEH実証実験棟

琉大ZEH実証実験棟の事例(写真右)が従来の工法、高断熱(写真左)が断熱工法で建築され、断熱性能に明確な差があります。

琉大ZEH実証実験棟
 築年月: 2019年07月28日(土)
 建築面積: 100㎡
 外気温: 22.2℃
 撮影者: 伊藤

琉大ZEH実証実験棟
 築年月: 2019年07月28日(土)
 建築面積: 100㎡
 外気温: 22.2℃
 撮影者: 伊藤

北窓の外壁及び内断熱を熱カメラで撮影。内外温度差が約1.6℃あった。これは従来の断熱工法を測定した。内断熱は上りの気流で断熱性能を低下させている点に比べて温度差は小さい。

北窓の外壁及び内断熱を熱カメラで撮影。内外温度差が約2.0℃あった。内断熱にユニットバスの部分がある為、温度差が小さくなった可能性がある。内断熱の内断熱では大きな温度差は出ていない。

5

6

7

何故ゼロエネハウスを建築した方が良いのか?

脱炭素「成り行きませ」経産省の会議が沖縄電力へ厳しい注文

温暖化ガス排出、2050年に実質ゼロ 菅首相が表明へ

脱炭素「成り行きませ」経産省の会議が沖縄電力へ厳しい注文

温暖化ガス排出、2050年に実質ゼロ 菅首相が表明へ

沖縄電力が会議で示した電源構成の推移

年	1985	2005	19	28年度	2050年
その他	1	21	6	7	7
石油	100	75	14	20	31
LNG(高効率)	0	0	0	46	46
ガス	0	0	0	0	0
石炭	0	0	0	0	0

政府が温暖化ガスの排出量を2050年に実質ゼロにする目標を掲げることが分かった。菅首相が20日、政界記者団の前で記者会見を開き、この目標を示した。政府は「脱炭素」を掲げ、2050年に実質ゼロの目標を立て、日本もようやく追い付ける。高い標準の国際協力を達成するため、日本は産業構造の転換を進める。

脱炭素「成り行きませ」経産省の会議が沖縄電力へ厳しい注文

【東京】経済産業省は18日、非効率な石炭火力発電の削減に向けた有識者会議を開き、沖縄電力が石炭火力発電の削減計画を報告した。沖縄電力は送電網が本土とつながっていない地域に依存しており、原子力や水力発電の稼働が困難な状況を説明。発電機に依存する石炭の割合を2019年度の6.0%から、28年度に4.6%まで削減する計画を示した。議場で議論する事案からは「石炭火力を減らすロードマップ(行動計画)が示されていない」「成り行き任せで積極的な対応をしないと驚かせる」と厳しい指摘が相次いだ。

沖縄電力が会議で示した電源構成の推移

政府は30年度までに、非効率な石炭火力発電の9割を削減(フェードアウト)する方針。県内では沖縄や電源開発の計3発電所(6基)が該当する。

ただ、鹿児島経済産業局は「沖縄は原子力がなく、ネットワークも未だつながっていない。脱炭素や経路削減も考えながらやりたい」と配慮する姿勢を示している。

会議で沖縄の上野博・総務部長は「沖縄地域では低効率石炭のフェードアウトではなく『脱炭素』となる」と指摘。「電気料金の騰貴、県民生活の大きな影響をもたらすことになりかねない」と訴え、理解を求めた。

8

建築物省エネ法が改正されました。

国土交通省

建築物省エネ法が改正されました

9

令和3年4月から住宅の省エネ説明義務化

改正建築物省エネ法の概要

橙色は改正建築物省エネ法（令和元年5月17日公布）の改正内容

<p>規制</p> <p>● 適合義務制度 内容 新築時等における省エネ基準への適合義務 基準適合について、所管行政庁又は登録省エネ判定機関の省エネ適合性判定を受ける必要 ※ 省エネ基準への適合が確認できない場合、着工・開業ができない 対象 2,000㎡以上の非住宅建築物 ⇒ 対象を300㎡以上の非住宅建築物に拡大</p> <p>● 説明義務制度（新規創設） 内容 設計の際に、建築士から建築主に対して、省エネ基準への適合等の説明を行う義務 対象 300㎡未満の住宅・建築物</p>	<p>● 届出義務制度 内容 新築時等における所管行政庁への省エネ計画の届出義務（不適合の場合、必要に応じ、所管行政庁が指示・命令） ⇒ 住宅性能評価やBELS等の取得により、届出期限を着工の21日前から3日前に短縮 ⇒ あわせて、指示・命令等の実施を強化 対象 300㎡以上の住宅 ※ 令和3年3月までは200㎡以上の非住宅建築物対象</p> <p>● 住宅トップランナー制度 内容 住宅トップランナー基準（省エネ基準より高い水準）を定め、省エネ性能の向上を誘導（必要に応じ、大臣が勧告・命令・公表） 対象 分譲戸建住宅を年間150戸以上供給する事業者 注文戸建住宅を年間300戸以上供給する事業者 賃貸アパートを年間1,000戸以上供給する事業者</p>
<p>誘導</p> <p>● 容積率特例に係る認定制度 誘導基準に適合すること等についての所管行政庁の認定により、容積率の特例を受けられることが可能 ⇒ 対象に複数の建築物の連携による取組を追加 ※ 省エネ性能向上のための設備について通常の建築物の床面積を超える部分を不算入（10%を上限）</p>	<p>● 省エネ性能に係る表示制度 基準適合認定制度（省エネ基準に適合することについて所管行政庁の認定を受けると、その旨を表示することが可能） B E L S（建築物省エネルギー性能表示制度。登録省エネ判定機関等による評価を受けると、省エネ性能に応じて5段階の★で表示することが可能）</p>

● その他（基本方針の策定、建築主等の努力義務、建築主等に対する指導助言、新技術の評価のための大臣認定制度、条例による基準強化等）

10

令和3年4月から住宅の省エネ説明義務化

戸建住宅等に対する措置

【住宅トップランナー制度】
 改正内容：現状の建売戸建住宅に加え、注文戸建住宅や賃貸アパートを対象を拡大

・以下の住宅事業者を対象に、住宅トップランナー基準への適合を誘導します。

【説明義務制度】（新たに創設）

・300㎡未満の小規模住宅・建築物の設計に際して、建築士から建築主に対して、以下の内容について書面で説明を行うことが義務づけられます。

- 1 省エネ基準への適合
- 2（省エネ基準に適合しない場合）省エネ性能確保のための措置

・300㎡未満の共同住宅や小規模店舗等も対象となります。

・建築主に交付する説明書面は、建築士事務所の保存図書に追加される予定です。

令和3年4月施行予定

対象事業者	年間300戸以上供給する事業者
目標年度	令和6年度
外皮基準	全ての住戸が省エネ基準に適合
1次エネ基準	省エネ基準▲25%（当面は▲20%）

11

令和3年4月から住宅の省エネ説明義務化

住宅

	改正前	改正後
大規模 (2,000㎡以上)	届出義務	届出義務
中規模 (300㎡以上2,000㎡未満)	届出義務	届出義務 審査手続きの合理化を通じて、指示・命令等の監督の実施を重点化
小規模 (300㎡未満)	—	説明義務
住宅TR制度 ※	建売住宅 住宅トップランナー制度 大手住宅事業者を対象に、トップランナー基準（省エネ基準を上回る基準）の達成を誘導する制度	建売住宅 注文住宅 賃貸アパート 対象拡大

12

13

THE THEME OF CHAPTER IS...

ZEH実験棟チームで完成させたZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) について

14

ZEB(ゼロエネルギービルとは?)

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル (ZEB)

2020年までに**新築公共建築物等**で、2030年までに**新築建築物の平均**でZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を実現することを目指す。(エネルギー基本計画)

エネルギーを上手に使う (空調、照明、給湯、昇降機) + エネルギーを創る (太陽電池、自然換気・昼光利用) = Nearly ZEB (正味で75%以上省エネ) + ZEB (正味で100%以上省エネ)

ZEBロードマップ

- 2020年までの**新築公共建築物等**でのZEBの実現を目指す
- 国の役割として、実証事業の成果を活用してZEBの**設計ガイドライン**を作成(2016年度より)
- 2017年度からは、民間事業者における**自主的な取組み**を後押しする仕組みを導入(ZEBプランナー、ZEBリーディング・オーナー登録制度)

15

16

(有) 翁長電気工事が担当したゼロエネルギービル

ZEB019L-00002-G
ZEBリーディング・オーナー 導入実績 ①

SEFA

オーナー名 久米島町 登録年度 2019
建築物の名称 久米島庁舎

建築物のコンセプト
建築物内へ太陽電池パネル・LED照明、高効率エアコン、蓄熱式冷暖房システム、全熱交換器を導入。また、太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーを積極的に活用することで、建築物全体のエネルギー消費量を削減します。

ZEBランク
Nearly ZEB

項目	値	単位
一次エネルギー消費量 (kWh/m ²)	1.44	0.31
CO ₂ 排出量 (kg/m ²)	440	0.31
省エネ率 (%)	82	

省エネ率一瞥表

項目	値	単位
一次エネルギー消費量 (kWh/m ²)	1.44	0.31
CO ₂ 排出量 (kg/m ²)	440	0.31
省エネ率 (%)	82	

26年度以降の省エネ率の推移は、以下の通りです。

25

琉球大学ZEHチームの今後のZEB化事業予定

- ・ ジムキ文明堂本社ZEB化事業
令和3年6月竣工予定
- ・ 若狭コンドミニアムホテルZEB化事業
令和3年4月竣工予定
- ・ 泉崎カプセルホテルZEB化事業
令和3年着工予定
- ・ うるま市某保育園ZEB化事業
令和4年2月竣工予定
- ・ 石垣島あやばにボールZEB化事業
令和3年8月頃着手予定

26

どうもありがとうございました

27

住宅は今からゼロエネハウスにした方が良い理由。

光熱費用の大幅削減が可能

35年間で総額706万円もゼロエネハウスが安くなります。

年間光熱費シミュレーション				年間光熱費シミュレーション			
項目	通常RC	省エネRC	差額	項目	通常RC	省エネRC	差額
基本料	241,141円	0円	241,141円	基本料	115,747円	0円	115,747円
燃料費	0円	0円	0円	燃料費	0円	0円	0円
電気料	0円	0円	0円	電気料	0円	0円	0円
ガス料	0円	0円	0円	ガス料	0円	0円	0円
合計	241,141円	0円	241,141円	合計	115,747円	0円	115,747円

生涯コストシミュレーション				生涯コストシミュレーション			
項目	通常RC	省エネRC	差額	項目	通常RC	省エネRC	差額
建築費	3,200,000円	3,000,000円	200,000円	建築費	3,200,000円	3,000,000円	200,000円
諸費用	1,000,000円	1,000,000円	0円	諸費用	1,000,000円	1,000,000円	0円
ローン返済	1,000,000円	1,000,000円	0円	ローン返済	1,000,000円	1,000,000円	0円
売却時売却益	2,000,000円	2,000,000円	0円	売却時売却益	2,000,000円	2,000,000円	0円
11年間の総コスト	5,200,000円	5,000,000円	200,000円	11年間の総コスト	5,200,000円	5,000,000円	200,000円
25年間の総コスト	9,200,000円	8,500,000円	700,000円	25年間の総コスト	9,200,000円	8,500,000円	700,000円

通常の建築会社が造るRC住宅
建築費3300万円 35年間で支払う
総額4989万円

当社が造るゼロエネハウス
建築費3520万円 35年間で支払う
総額4283万円

28

令和2年11月吉日

報道機関 各位

有限会社みどり調査設計新社屋 ZEB 化事業の完成

有限会社 みどり調査設計
代表取締役 玉那覇有次

拝啓 時下益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年より建築を進めて参った弊社新社屋が4月に完成いたしました。コロナ禍における自粛で完成報告を控えておりました。しかし ZEB 化事業は国の進める Co2 削減に大きな成果を生み出す事と思ひます、つきましては多くの県民への周知をお願いしたく取材・報道をよろしくお願ひ申し上げます。※県内「新築」ZEBでは1号案件です。

弊社新社屋は国の目標である2030年までに、新築建築物の平均でZEBを実現することを目指す。(エネルギー基本計画)我が国におけるCO2削減対策『地球温暖化対策計画』、2030年26%削減目標、2050年80%削減を目指す。

国の目標を踏まえ本計画は小規模建築物ではあるがハードルの高いZEB化にチャレンジし沖縄県のZEB化の推進や災害に強い建築物として地域社会に貢献する。

また弊社に勤める社員が快適な職場環境を実現できる建物とした。

太陽光発電システムと蓄電池を連携させCO2排出量削減と台風等による停電に備えると共に災害時に近隣市民の避難所として活用可能な災害に強い建築物を目指した。

- ① 建築省エネルギー技術、外壁に断熱性の高い軽量気泡コンクリートパネル+押出法ポリスチレンフォーム保温板、屋根に金属折板HK-500+吹き付け硬質ウレタンフォームA種を採用し外皮から侵入する熱を抑える外装とした。また窓には樹脂サッシアルゴンガス入りLow-e複層ガラスを採用、室内側にハニカム構造断熱ブラインドを取り付けることにより窓から出入りする熱も抑える構造とした。
- ② 設備省エネルギー技術、空調設備はパッケージエアコンの冷媒排熱を利用したハイブリット式輻射冷暖房(ecowinHYBRID)省エネ性と快適性を向上させ、全熱換気システムを採用し冷暖房効率を向上させた。照明設備はLED照明を人感センサー制御とタスクアンビエントを組み合わせ照明エネルギー抑えるに制御を行う
- ③ 効率化設備としては9.0Kwの太陽光発電システムと11.2Kwのリチウムイオン電池を組み合わせ自然エネルギーを最大限活用、将来的にEVとの連携も行う予定である。
- ④ ZEBリーディングオーナー登録を行い、沖縄県のエコアクション21に貢献できるよう周知活動も行っていく。
- ⑤ 上記事項を地元うるま市内の民間業者で実現することを意図とし、計画当初の段階から

琉球大学 ZEH 実験棟チームの監修の下に実現できた。

⑥ 第三者機関による BELS の評価証を得ている。

建築物の所在地		地域区分		8		評価結果	
沖縄県うるま市字宇堅荒吹原592-1						<p>この建物の 設計一次エネルギー消費量 110%削減 172MJ/(㎡・年)</p> <p>少ない → ← 0 → → 多い</p> <p>一次エネルギー消費基準 適合 BPI=0.75 評価基準 [25%削減] 省エネルギー 省エネルギー基準 1,597MJ/(㎡・年)</p>	
名称							
みどり調査設計ZEB化新築工事							
建築物に関する基本的事項							
階数	地上1階	構造	鉄骨造				
延べ面積	147.63㎡						
新築竣工時期 (計画中の場合は予定時期)	2020年3月20日						
申請対象部分に関する基本的事項							
用途	事務所等						
改修の竣工時期 (※1)							
(※1) 申請対象部分を改修する場合のみ記載されます。							
評価結果							
■一次エネルギー消費量基準							
評価手法 (※2)	非住宅部分	通常の計算法 (平成28年基準)	住戸部分 (共用除く)	対象外			
BEI の値 (削減率) (※3)	新築 (改修後等)	-0.10 (110%削減)	改修前				
単位面積当たりの一次エネルギー消費量 (MJ/㎡・年)	設計値 (その他除く)	-170	設計値 (その他含む)	114			
	基準値 (その他除く)	1,597	基準値 (その他含む)	1,881			
■外皮性能基準							
外皮性能	非住宅部分	適合 BPI=0.75	住戸部分	-			

施工	有限会社みどり調査設計	代表取締役	玉那覇有次
設計	久友設計株式会社	代表取締役	久田有一
	株式会社大川工業	代表取締役	大宜見正 (機械設備・設計協力)
建築	有限会社国吉組	代表取締役社長	石川裕憲
	有限会社三成工業	専務取締役	平川興志
	豊建工業株式会社	代表取締役	豊川修
電気設備	有限会社翁長電気工事	代表取締役	翁長秀樹
	乾設備	代表者	島袋幹也
ZEB プランナー	(有)フロンティアーズ	代表取締役	伊藝直

※県内「新築」ZEBでは1号案件 (Nearly・ready は多数あり) を地元主導で実現できたことは、CO₂削減の流れを促進する取り組みに参入の可能性モデルとすることが出来た。

令和2年11月吉日

報道機関 各位

社会福祉法人友和福祉会『ひがしの大空（そら）保育園』ZEB 化事業の完成

社会福祉法人 友和福祉会
理事長 吉本 眞光

拝啓 時下益々御清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年より建築を進めて参りました『ひがしの大空（そら）保育園』が4月に完成しました。コロナ禍における自粛で完成報告を控えておりました。しかしZEB化事業は国の進めるCO2削減に大きな成果を生み出す事と思ひます、つきましては多くの県民への周知をお願いいたく取材・報道をよろしくお願ひ申し上げます。県内保育園での **NearlyZEB 実績は初めてです**

『ひがしの大空（そら）保育園』は国の目標である2030年までに、新築建築物の平均でZEBを実現することを目指す。(エネルギー基本計画)我が国におけるCO2削減対策『地球温暖化対策計画』、2030年26%削減目標、2050年80%削減を目指す。

国の目標を踏まえ本計画は保育園としては県内初のZEB化にチャレンジし沖縄県のZEB化の推進や災害に強い建築物として地域社会に貢献する。

また当法人に通う園児と勤める職員が快適に過ごせる環境を実現できる建物とした。太陽光発電システムと蓄電池を連携させCO2排出量削減と台風等による停電に備えると共に災害時には近隣市民の避難所として活用可能な災害に強い建築物を目指した。

- ① 建築省エネルギー技術、外壁に断熱性の高いフェノールフォーム保温板、屋根に吹き付け硬質ウレタンフォームA種を採用し外皮から侵入する熱を抑える外装とした。また窓にはアルゴンガス入り Low-e 複層ガラスを採用し窓から出入りする熱も抑える構造とした。
- ② 設備省エネルギー技術、空調設備はパッケージエアコンの冷媒排熱を利用したハイブリット式輻射冷暖房(ecowinHYBRID)を採用し省エネ性と快適性を向上させた。更に全熱換気システムを採用し暖かい空気が上昇する原則を利用しPH階に温度センサーによる自動排熱システムを採用し冷房効率を向上させた。
照明設備は全てLED照明とし人感センサー制御や明るさセンサーによる照明抑制を行う事で、照明エネルギーを削減した。
- ③ 効率化設備としては41.625Kwの太陽光発電システムと11.2Kwのリチウムイオン電池を組み合わせ自然エネルギーを最大限活用、将来的にEVとの連携も行う予定である。
- ④ ZEBリーディングオーナー登録を行い、沖縄県のエコアクション21に貢献できるよう周知活動も行っていく。
- ⑤ 上記事項を地元うるま市内の民間業者で実現することを意図とし、計画当初の段階から琉球大学ZEH実験棟チームの監修の下に実現できた。
- ⑥ 第三者機関によるBELSの評価証を得ている。

BELS 評価書

申請者の連絡先	
沖縄県うるま市仲嶺231番地	
申請者の氏名又は名称	
社会福祉法人 友和福社会	

※複数申請者の場合は、別紙に記載されます。

下記の建築物に関して、BELS 評価業務方法書に従って評価を行った結果について証します。
 なお、評価結果については、提出を受けた図書にて評価したものであり、それ以降の計画の変更や時間経過などによる変化がないことを保証するものではありません。

建築物の所在地		地域区分	8	評価結果	
沖縄県うるま市字具志川地荒原2964、2965、2960-1				<p>この建物の 設計一次エネルギー消費量 削減率 96%削減 (3,036MJ/m²・年)</p> <p>0 100</p> <p>一次エネルギー消費量基準 適合 外皮性能 適合 BPI=0.67</p> <p>評価基準 (20%削減) 適合 BPI=0.67</p> <p>省エネルギー率 1.036MJ/(m²・年)</p>	
名称		ひがしの大空保育園			
建築物に関する基本的事項					
階数	地上2階	構造	RC造		
延べ面積	1,424.74m ²				
新築竣工時期 (計画中の場合は予定時期)	2020年3月10日				
申請対象部分に関する基本的事項					
用途	保育所				
改修の竣工時期 (※1)					
<small>(※1) 申請対象部分を改修する場合のみ記載されます。</small>					
評価結果					
■一次エネルギー消費量基準					
評価手法 (※2)	非住宅部分	通常の計算法 (平成28年基準)	住戸部分 (共用除く)	対象外	
BEI の値 (削減率) (※3)	新築 (改修後等)	0.04 (96%削減)	改修前		
単位面積当たりの 一次エネルギー消費量 (MJ/ m ² ・年)	設計値 (その他除く)	33	設計値 (その他含む)	45	
	基準値 (その他除く)	1,036	基準値 (その他含む)	1,048	
■外皮性能基準					
外皮性能	非住宅部分	適合 BPI=0.67	住戸部分	—	

施主 社会福祉法人 友和福社会 理事長 吉本眞光
 設計 有限会社アトリエ・門口 主宰 門口安則
 建築 有限会社トーワ 代表取締役 當眞恵美
 ZEB プランナー 有限会社翁長電気工事 代表取締役 翁長秀樹
 社会福祉法人 友和福社会 ひがしの空保育園 園長 吉本茂史

※県内保育園での NearlyZEB 実績は初めてで 96%削減は今後の案件で ZEB 化の可能性も期待できる。